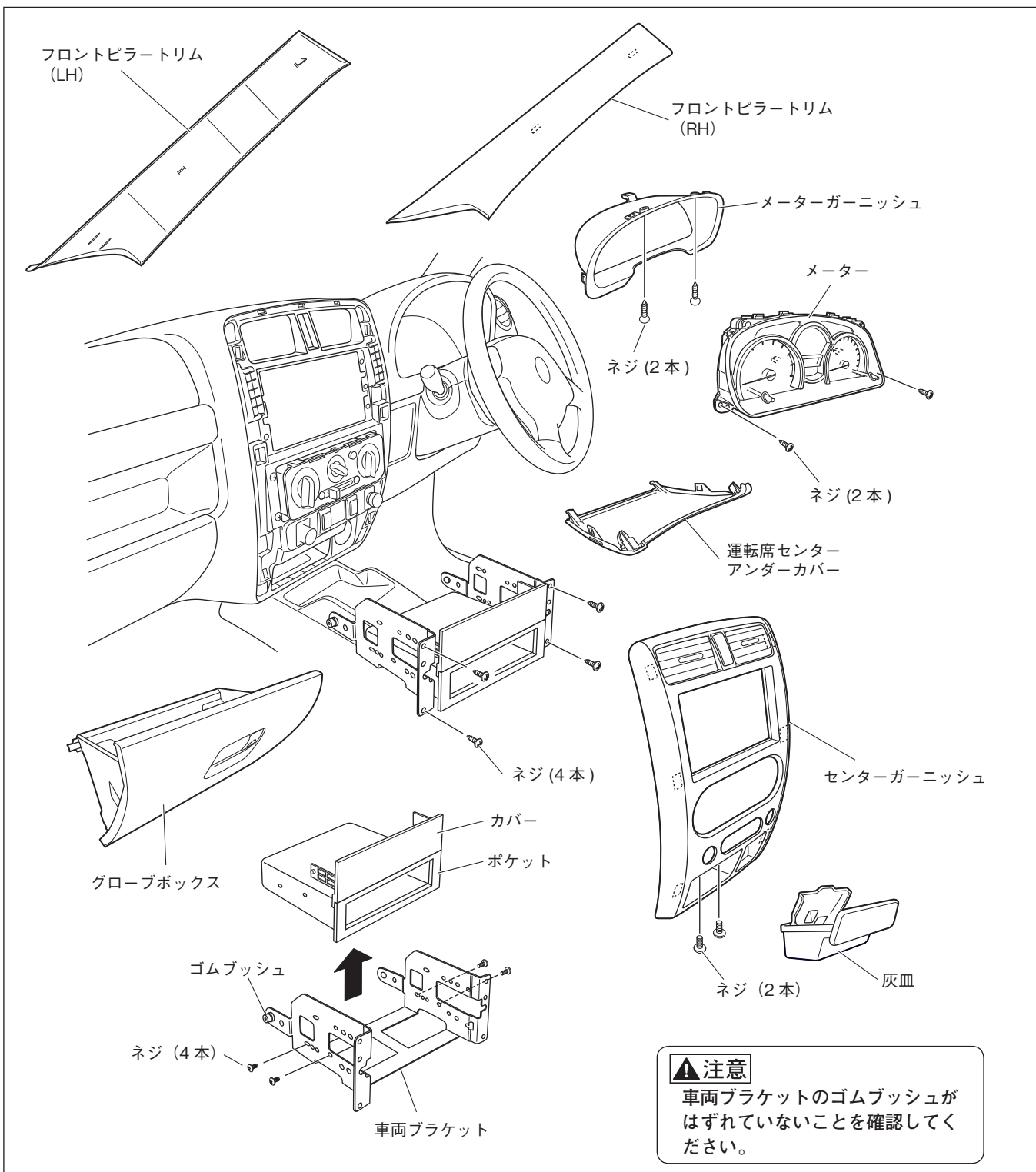


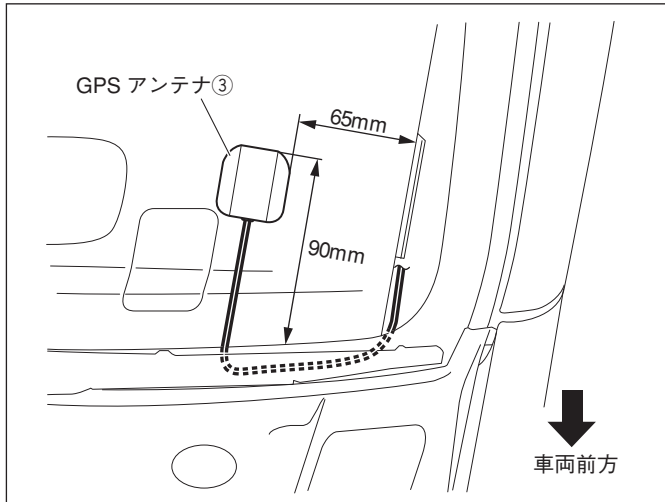
# ■ ジムニー / ジムニーシエラ

## 1. 車両部品の取り外し



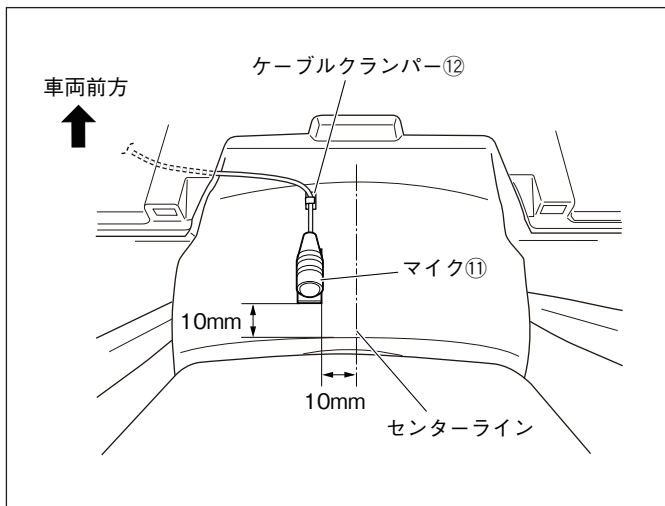
1. フロントピラートリム (LH/RH) を取り外します。
2. 灰皿を取り外します。
3. センターガーニッシュを取り外します。(ネジ2本、クリップ6箇所)
4. 車両ブラケットを取り外します。(ネジ4本)
5. 車両ブラケットからカバーとポケットを取り外します。(ネジ4本)
6. メーターガーニッシュを取り外します。(ネジ2本)
7. メーターを取り外します。(ネジ2本、クリップ2箇所)
8. 運転席センターアンダーカバーを取り外します。
9. グローブボックスを取り外します。

## 2. GPS アンテナの取り付け



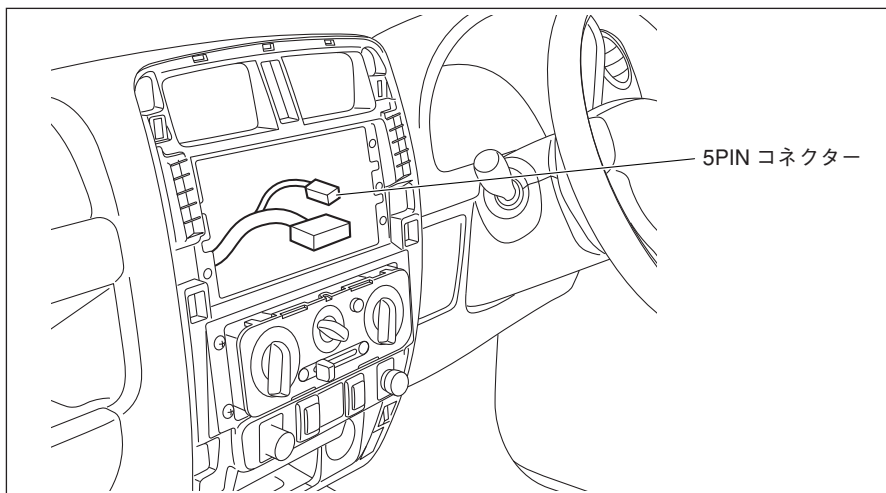
1. GPSアンテナ③を左図の位置に取り付けます。

## 3. マイクの取り付け



1. マイク①を左図の位置に取り付けます。
2. マイク①のケーブルをケーブルクランパー⑫で固定します。

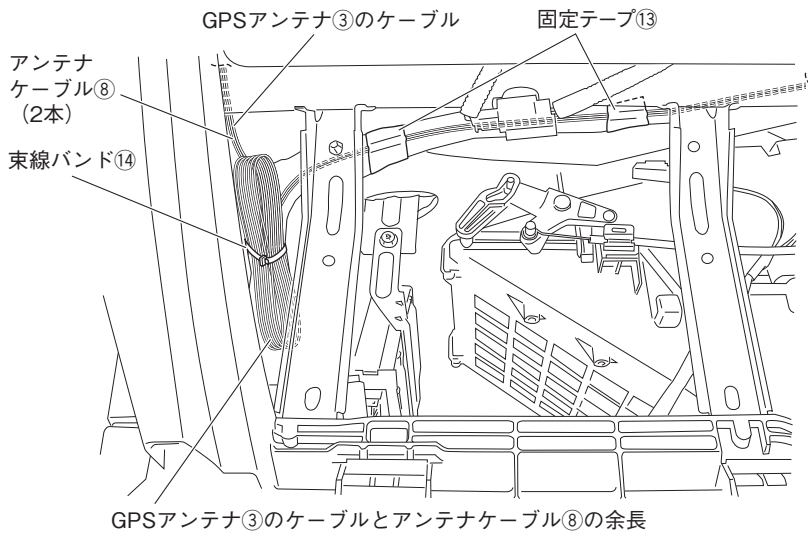
## 4. 車速信号、パーキング信号、バック信号の取り出し



1. 5PINコネクタの線が車両ハーネスにテープで固定されているので、このテープを外します。
2. 5PINコネクタを引き出します。
3. 結線図を参照して、5PINコネクタと電源ハーネス②のコネクタを接続します。

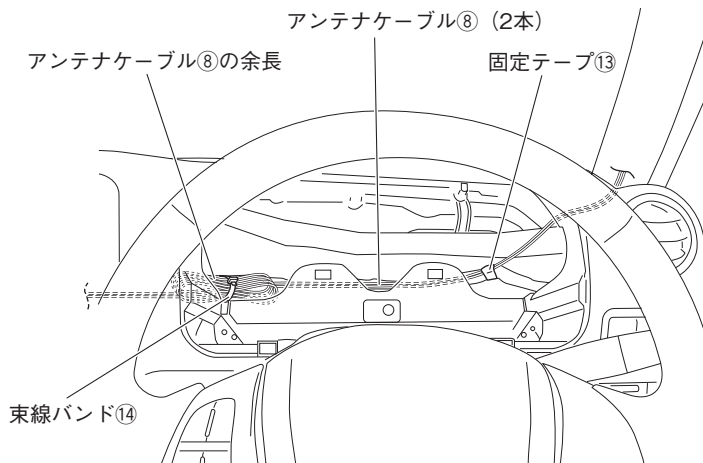
## 5. 配線

### <助手席側：グローブボックス取り付け部奥の配線>



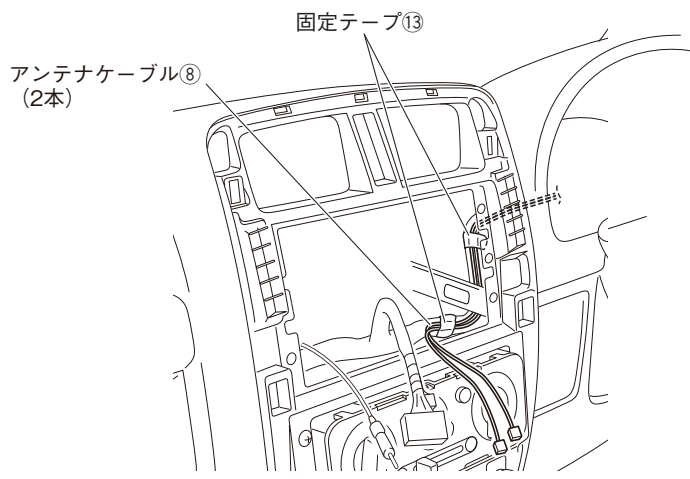
1. GPSアンテナ③のケーブルとアンテナケーブル⑧2本をダッシュボード助手席側からグローブボックス取り付け部奥を通して、ナビゲーション本体①まで配線します。ケーブルは固定テープ⑬で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑭で車両ハーネスに固定します。

### <運転席側：メーター取り付け部奥の配線>



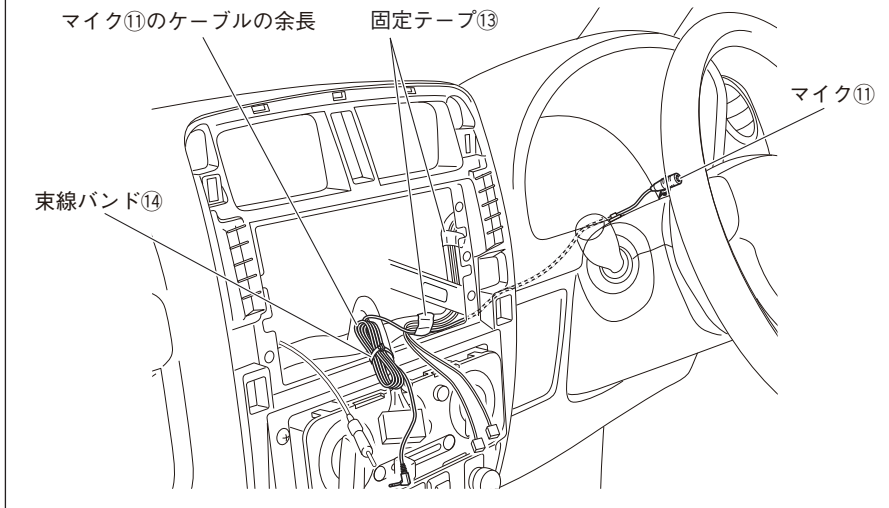
2. アンテナケーブル⑧2本をダッシュボード運転席側からメーター取り付け部奥を通して、ナビゲーション本体①まで配線します。ケーブルは固定テープ⑬で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑭で車両ハーネスに固定します。

### <ナビゲーション取り付け部の配線>



3. アンテナケーブル⑧2本を固定テープ⑬で車両ハーネスに固定します。

## <マイクのケーブルの配線>

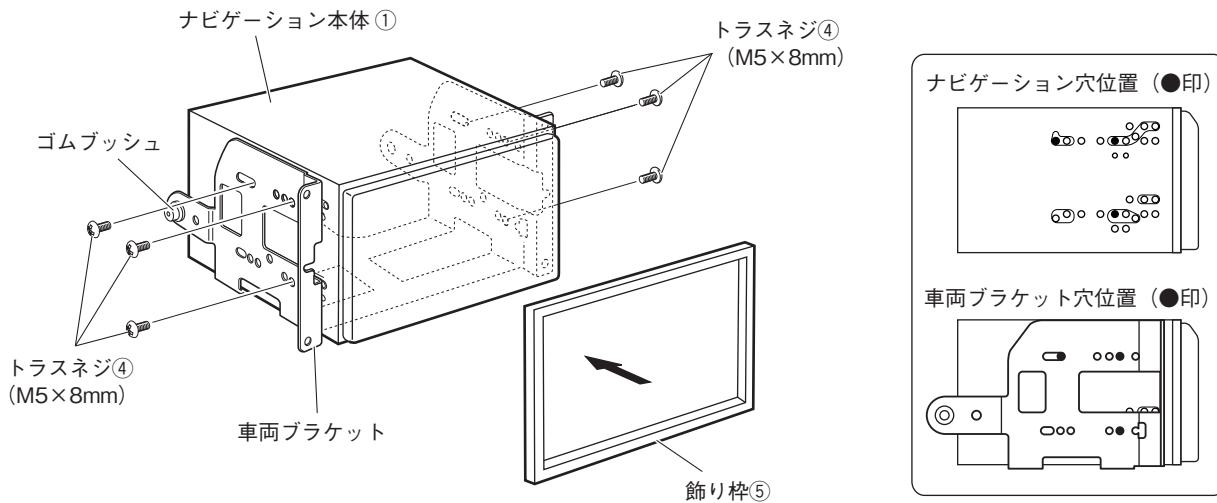


3. 左図のようにマイク①のケーブルをナビゲーション本体①まで配線します。  
ケーブルは固定テープ⑬で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑭で車両ハーネスに固定します。

### ▲ 注意

ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

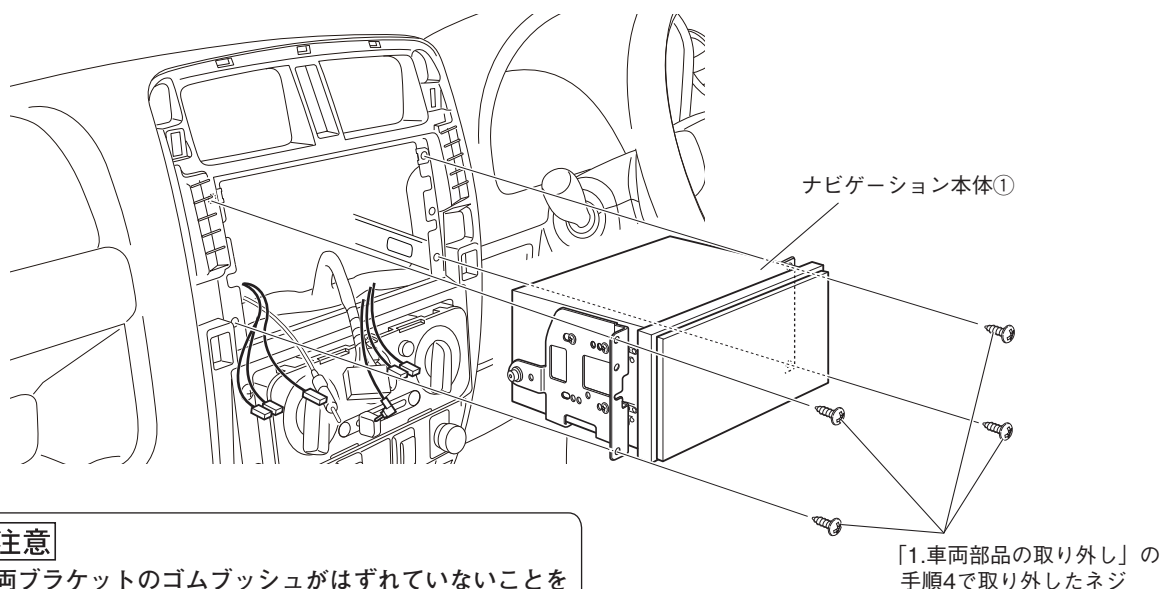
## 6. ナビゲーションの取り付け



### ▲ 注意

- ・取り付けには、必ず同梱のトラスネジ④ (M5×8mm) を使用してください。その際、ネジを確実に締め付け2～3回増し締めしてください。振動などにより緩みが発生しないように、全箇所確実に増し締めをしてください。
- ・車両ブラケットのゴムブッシュがはずれていないことを確認してください。

1. ナビゲーション本体①に車両ブラケットを取り付けます。
2. 同梱の飾り枠⑤を取り付けます。



3. 結線図を参照して配線を接続します。(オーディオレス車のアンテナフィーダー線とコネクタは、ステアリングサポートメンバーの後下側にあります。)
4. ナビゲーション本体①を車両へ取り付けます。  
その際、USBソケット(別売品)を使用しない場合は、ナビゲーション本体①から出ているUSBケーブルをグローブボックス側へ配線します。(共通編P20を参照してUSBケーブルの取付を行ってください。)
5. ナビゲーション本体①を車両から取り外したネジで車両に取り付けます。取り付けの際はゆるみのないよう締め付けてください。

#### 👉 アドバイス

- ・ハーネスやケーブルをコンソール内の空いている方に逃がすようにして取り付けてください。ナビゲーション本体①の裏側に固まっていると取り付けできない場合があります。
- ・ゴムブッシュ付近にケーブルやコードが掛からないようにして取り付けてください。ケーブルやコードを挟み込んだり、取り付けできない場合があります。

- コード類を配線する際は、下記の点に注意してください。



**警告** 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く  
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

## 7. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。
- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。